



長い巣ごもりをきっかけに観葉植物を楽しむ人が増えている。屋内で過ごす時間が延びる冬の季節も潤してくれる存在だ。今風の外見で育てやすい小ぶりな植物を専門家が選んだ。

1位
640票

パンダガジュマル

愛らしい肉厚の丸い葉

観葉植物の定番品であるガジュマルの一種。ガジュマルの葉は楕円に近いが、パンダガジュマルの葉は丸っこい。そのかわいらしさにひかれる人が多いようだ。光沢のある葉を手で触ってみると肉厚でつるつるとしている。

川原伸晃さんは「観葉植物の王様ガジュマルの性質と可愛い丸い葉を併せ持つ、圧倒的にお薦めの品種」と一押しする。佐藤桃子さんは「流通量はガジュマルより少なく『初めてだけちょっと珍しいものを』という人も心をくすぐられる」と人気の理由を挙げる。

名前の由来について「1972年に上野動物園にパンダが来たときに、その人気にあやかろうと、当時流通し始めていた新種のガジュマルに日本の生産者がつけた」と(佐藤さん)という説がある。

基本的に丈夫で育てやすいが、日光が少ないと葉を落としてしまうので、日当たりの良いところに置く。水やりについては「土の表面が乾いたら鉢底から染み出すくらいタップリと与える。冬場は成長が鈍るので秋の終わりから徐々に水やり回数を減らしていく。土の表面や葉の状態などを見ながら適宜

水やりをする」(川崎拓也さん)。ガジュマルはゴムの木の仲間で、沖縄では自生し、精霊が宿るとされている。自生地では枝葉を茂らせて20cm以上の巨木となることもある。観葉植物としてはガジュマルの根っこの部分を土から露出して売られていることも多い。根っこがもこっと太ってニンジンのように見えることから、ニンジンガジュマルと称される。一つ一つの形状が異なるので、愛着を持つ人が多い。

①科名 クワ科②参考価格 1000~2000円程度(鉢のサイズ 3.5号)

2位
480

ベゴニア マクラータ

若い人にも人気の水玉模様

種類が多いベゴニアの一つで、緑色の葉について白い水玉模様が特徴だ。マクラータはラテン語で「斑点のある」という意味。葉形は左右非対称。葉の裏は赤く、表の緑とのコントラストも美しい。条件が整えば、白やピンクの花を咲かすこともある。

谷奥俊男さんによると「若い人の中でも人気の商品で、入荷すればすぐに売れてしまう」という。生産者が限られるため生育のタイミングによっては店頭在庫がないこともある。

短時間だけ日が当たるような場所でも育てられる。「水やりの頻度は比較的少なくてよいので管理は楽」(日尾美菜子さん)。成長は早く、ぐんぐんと背が高くなる。倒れないよう、添え棒で支えるといいそうだ。

①シュウカイドウ科②4000~5000円程度(4号)



3位
475

カラテア オルビフォリア

アートのように美しい筋模様

100種類以上あるカラテアは葉っぱの形や模様のバリエーションが豊富だが、オルビフォリアは、大きめの丸い葉っぱを持つ。葉脈に沿って、シルバーのような色のしましまの模様が規則的に入っている。曾我広範さんは「葉の模様がアートのように美しくオシャレ。どんなインテリアシーンにも合わせやすい。毎日眺めるだけで癒やになる」と評価する。

文屋泉さんは「薄いレースのカーテン越しの光が当たった方がよく育つ。葉に霧吹きをして大きな葉に埃がたまらないようティッシュなどで優しく拭き取るようにして」とアドバイスする。高温多湿の環境を好み、冬は湿度不足になると葉を落としやすいという意見もあるので気を付ける。

①クズウコン科②2000~3000円程度(4号)



4位
以下は
2面に

今週の専門家

▽我妻朋子(プロトリーフ ガーデンアイランド玉川店副店長)▽川崎拓也(オザキフラワーパーク 観葉植物スタッフ)▽川原伸晃(REN代表)▽佐藤桃子(AND PLANTS)▽白田仁(NEO GREEN代表)▽曾我広範(NODERIUM [アクタス] パイヤー)▽谷奥俊男(屋内植物アドバイザー協会代表)▽日尾美菜子(the Farm UNIVERSAL osaka店長)▽文屋泉(TRANSHIPストアマネージャー)▽森田憲久(Beer and Tech 代表) =敬称略、五十音順